

英語科学習指導案

日 時：平成27年11月12日（木）第5校時

場 所：2年A組教室

対 象：2年A組（男子17名、女子13名、計30名）

授業者：教諭 根反 冬実

1 教材名

PROGRAM 7 If You Wish to See a Change（開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2）

2 単元について

（1）生徒について

英語の授業には概ね意欲的で、ほとんどの生徒が学習課題を意識して授業を受けており、友達が発言や教師の指示などをしっかり聞いている。また、授業に関連した宿題の提出率も高い。英語検定取得状況は、5級12名、4級13名で、このうち1名は3級の1次試験に合格している。平成26年度岩手県中学1年生英語確認調査（CAN-DO テスト）の結果は、全領域において岩手県の平均を上回っているが、表現の能力（書く力）は比較的苦手な分野である（理解の能力：+11.4、言語文化の知識・理解：+4.4、表現の能力+1.3）。

これまでに行ってきた「書く」活動は、自己紹介、好きなスターやアスリートの紹介、岩手の名所の紹介、フィンランド旅行でのフリープラン、将来の夢について、などである。2年生になって、動詞の過去形、予定を表す表現、各種助動詞、文と文をつなぐ接続詞、to不定詞、と新しい表現をたて続けに学んでおり、表現の幅が広がる一方で、重要な語句や表現の多さに混乱している生徒もいる。したがって、書く活動の際には、役立つ表現に気付かせながら、どの生徒も取り組むことができるように指導していきたい。

（2）教材について

本単元では、1992年リオの地球サミットにおける当時12歳のセヴァン・カリス・スズキのスピーチを題材とし、その後の彼女の生き方や考え方を知り、地球環境や世界平和について考えさせる内容となっている。関連して、実際に自分たちが学校で行っているボランティア活動や家庭で取り組んでいるエコ活動にも触れながら指導したい。

セヴァンの考え方に対して自分の気持ちを書き、伝えることは、学習指導要領の「イ話すことの（イ）自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」に対応している。

言語材料としては、動名詞やlook+形容詞、become+形容詞、そしてgive A BによってSVOOの文型が導入される。さまざまな場面を設定し、教具に工夫をしながらこれらの表現を定着させることで、英語表現の幅をより広げることができることに気付かせたい。

（3）単元の指導にあたって

セヴァンの生き方に焦点を当てるために、この単元では、まず、セクション1～3の新出文法について理解を促し、言語活動で定着へ向かう。その後長文をセクションごとに読み取らせる。その際に、写真や実際のスピーチ原稿（抜粋）を使用して、彼女の生き方と今世界が抱えている問題への理解を促す。同時に、彼女の生き方を表している言葉をキーワードとして押さえさせ、各セクションで自分の気持ちや考えを1行でも書かせ、表現を積み上げる。最終段階では、実際のスピーチ映像を視聴させ、自分の考えや気持ちを3文以上の英文にして、セヴァンへの手紙を書かせたい。

3 単元の指導目標及び評価規準

（1）単元の目標

- ① セヴァンの主張から感じたことをもとに、既習表現を駆使して、セヴァンに手紙を書く。
- ② 聞いたり読んだりした内容について、概要を把握する。
- ③ ペアやグループ活動に、意欲的に取り組む。
- ④ 動名詞、look / become+形容詞、give A B (SVOO)を使った文の意味、用法、構造を理解する。

(2) 単元の評価規準

ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ：外国語表現の能力	ウ：外国語理解の能力	エ：言語や文化についての知識・理解
① ペアやグループ活動に意欲的に取り組む。 ② 求められている課題にあきらめずに取り組む。	自分の気持ちや考えを、3文以上の英文にしてセヴァンに手紙を書くことができる。	聞いたり読んだりした内容について、概要をつかむことができる。	動名詞、look+形容詞、become+形容詞、give A B (SVOO)を含んだ英文の意味、用法、文の構造を理解する。

4 単元の指導計画及び評価計画

時間	ねらいと学習活動		「自分の考えや気持ちを3文以上の英文で書く」	評価規準	評価方法
	◎ねらい	○学習活動			
1	◎本単元のゴールや身に付ける技能を確認し、学習の流れを知る。 ○動名詞の用法を理解し、「～することを(が)」楽しむ、好き、やめる、始める、終える...などの表現を理解する。 ○動名詞の用法を与えられた場面に応じてペアで話すことができる。		わかる できる	エ ア①	観察評価 後日ペーパーテスト
2	◎look+形容詞を使い、場面に応じて「～のように見える」と表現する。 ○look+形容詞を用いた英文の正しい読み方、意味、語順について理解する。 ○look+形容詞を使い、与えられた場面に応じてペアで話すことができる。		わかる できる	エ ア①	観察評価 後日ペーパーテスト
3	◎give A B 「AにBを与える」(SVOO)を使い、場面に応じて適切に表現する。 ○give A B (SVOO)を用いた英文の正しい読み方、意味、語順について理解する。 ○give A B の用法を使い、家族や友達の誕生日に何をプレゼントするか、自分の気持ちをグループ内で話すことができる。		わかる できる	エ ア①	観察評価 後日ペーパーテスト
4	◎セヴァンの生き方について読み取り、自分の考えや気持ちを書く。 ○セヴァンの考え方と主張について読み取る。 ○セヴァンのセリフに対する自分の考えや気持ちを書く。		わかる できる	ウ イ	ワークシート
5	◎セヴァンの考え方について読み取り、自分の考えや気持ちを書く。 ○スピーチ後の変化と広い視野をもった考え方について読み取る。 ○セヴァンのセリフに対する自分の考えや気持ちを書く。		わかる できる	ウ イ	ワークシート
6	◎セヴァンの信念について読み取り、自分の考えや気持ちを書く。 ○セヴァンの体験からくる確信と主張とは何かを読み取る。 ○セヴァンのセリフに対する自分の考えや気持ちを書く。		わかる できる	ウ イ	ワークシート
7	◎セヴァンのスピーチ原稿(抜粋)を読み、印象に残った英文を挙げる。 ○英文の一部をグループで日本語にする。 ○印象に残った英文を各自挙げる。		わかる	ア① ウ	ワークシート
8 本 時	◎自分の考えや気持ちを、3文以上の英文でセヴァンに手紙を書くことができる。		できる	イ ア②	ワークシート 発表

5 本時の指導

(1) 指導目標

自分の考えや気持ちを3文以上の英文でセヴァンに手紙を書く

(2) 本時の評価規準

評価の観点	「概ね満足である」と判断される状況（B） （評価方法）	支援を要する生徒への 具体的な手立て
【関心・意欲・態度】	意欲的に自分の考えや気持ちを書こうとしている。（観察評価）	これまで用いた教材、役立つ表現シート、和英辞書などを使用させる。
【表現の能力】	自分の考えや気持ちを3文以上の英文で書くことができる。（ワークシート）	また、机間指導により、1文でも書くことができるように支援する。

(3) 校内研究との関連

研究主題 主体的に学ぶ生徒の育成～「わかる」「できる」喜びのある授業について

① 本校英語科のCAN-DO リストについて

本校英語科の育てたい生徒像は「場面や状況にふさわしい表現を使って、自分の考えや気持ちを積極的に伝えようとする生徒」である。そのために、2年生の到達目標(CAN-DO)を以下のように設定している。
(網かけ：本時に関わる部分)

領域等		2年生到達目標(CAN DO)
言語活動 (4技能)	聞くこと	1)簡単な5文程度の英文を聞いて正しく理解することができる。 2)簡単な指示を聞いて、その意味を理解して行動に移すことができる。 3)簡単な対話を聞いて、内容を正しく理解することができる。
	読むこと	1)新出語句の意味がわかれば、100語～200語程度の英文の概要を把握し、内容についての理由や背景など、細かな点を読み取ることができる。
	話すこと	1)これまでに習った文法事項や語彙を使って、短文で原稿を書いた上で、7文程度の自己紹介をすることができる。 2)日常的な話題で友達と合計4文程度の対話をするすることができる。 3)原稿を書いた上で、将来の夢などについてのスピーチをすることができる。
	書くこと	1)短文で構成された7文程度の自己紹介文を書くことができる。 2)教科書や例を参考にして、将来の夢のスピーチ原稿を書くことができる。 3)提示された話題について、自分の考えや気持ちを書くことができる。
言語材料等	音声	声の大きさ(強調)、ポーズ、イントネーション
	文字・語彙	天気、電話、買い物、道案内などの表現
	文法事項	過去形、過去進行形、未来、助動詞、助動詞的表現、不定詞、接続詞、動名詞、SV(look)C、SV(give)OO、比較、受け身
	その他	繋ぎ言葉や聞き返し、将来の夢、賛成・反対意見

②主体的に学ぶ生徒の育成～「わかる」「できる」喜びのある授業のための実践

本時では以下のような工夫を心がける。

ア 明確で意欲的に向かうことができる学習課題 生徒が何をできるようになるかが明確なゴール設定をする。
イ 教具の工夫 ICTを活用する。
ウ 生徒の活動時間の確保 1人で熟考する時間とグループでの意見交換、発表、振り返りまで、生徒の思考と活動の時間を保障する。

(4) 本時の指導の構想

これまで学んできた中で、印象に残ったセヴァンの言葉について想起させた後、実際のスピーチ映像を見せ、感想を言わせる。その後学習課題を把握させ、印象に残ったセヴァンの言葉を盛り込みながら、自分の考えや気持ちを3文以上の英文で書かせる。その後グループで意見交換をさせ、自分の英文を修正したり、書けなくて困っている友達を支援したりさせる。発表段階ではできるだけ多くの手紙文を紹介し、認め合わせたい。最終的には生徒ひとり一人が本時の学びをしっかりと振り返り、達成感を得ると同時に友達の良さにも気付かせたい。

(5) 本時の展開

は本校の研究に関わる手立てや工夫 (8/8)

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点及び評価 (★)
<p>導入 10分</p>	<p>0. 英語の歌を歌う。</p> <p>1. 印象に残っているセヴァンの言葉について話す。</p> <p>2. セヴァンのスピーチを視聴する。</p> <p>3. 感想を交流し合う。(グループ)</p> <p>4. 本時の学習課題を共有する。</p>	<p>〈予想される生徒の言葉〉</p> <p>既習事項の想起</p> <ul style="list-style-type: none"> • If you wish to see a change,.../ change our lifestyles/share,/not be greedy など。何を参考にしてもよい。 • 4人グループにさせる。 • 動画で実際の音声や表情に触れさせる。 • 自由に話をさせる。 <p>〈予想される生徒の言葉〉・すごかった、感動した、怒っている、自分の考えを主張している、など。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 英語で言わせる～good/ great/ I was moved. / She was angry./ Unbelievable など。 <p>Goal 自分の考えや気持ちを手紙でセヴァンに伝える</p> <p>明確で意欲的に向かうことができる学習課題</p>
<p>展開 34分</p>	<p>5. 自分の考えや気持ちを3文以上の英文で書く。【自力】 できる</p> <p>6. 意見交換【グループ】 グループ内で手紙文を読み合い、意見交換をする。 わかる</p> <p>7. ライティング ・必要に応じて友達の前で使われた表現を自分のそれに反映させ、加筆と修正をする。 ・自分の考えや気持ちを書けないで困っている友達にアドバイスする。 できる</p> <p>8. 発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・条件：3文以上の英文で書くこと、印象に残ったセヴァンの言葉を使うこと。 ・無言で行わせる。 ・これまで用いたすべての教材と和英辞書を使用してよい。 <p>★【関心・意欲・態度】【表現の能力】 〈予想される生徒の英文〉 I was moved by your speech. You said “if you can’t fix the environment, please stop breaking it.” I think so too.など。</p> <p>活動時間の確保</p> <p>★【関心・意欲・態度】【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー主導、日本語ミックスでOK。 ・グループ内でリアクションや質問をさせる。 ・読んだ後、手紙文を見せ合っただけで終わらない。 <p>活動時間の確保</p> <p>★【関心・意欲・態度】【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が納得できる英文にさせる。 ・生徒どうしの支援を促す。 ・机間指導と見取りをする。 ・できるだけ多様な内容が発表されるよう留意する。 ・発表練習をさせておく。 <p>教具の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアクションを引き出す。 ・多様な表現について気付かせる。
<p>終末 6分</p>	<p>9. 振り返り わかる 今日の授業の感想と、誰の意見や表現が参考になったか等について話す。</p>	<p>〈予想される生徒の言葉〉 セヴァンさんのスピーチに感動した、 〇〇さんの英文を聞いて自分も使ってみた、単語のつづりミスに気づいて直すことができた、など。</p> <p>活動時間の確保</p>